

2020 度プロジェクト演習活動報告会

コロナ禍での PBL 今できること・今後に向けて

2020 年 12 月 19 日 (土) 13:00～16:15

MS-Teams による遠隔開催

12:00 頃～ 各チームの活動紹介ポスターのスライドショー

13:00～13:10 開会挨拶

鈴木 栄幸(人文社会科学部副学部長)

13:10～13:20 趣旨説明

神田 大吾(プロジェクト演習担当教員)

13:20～14:20 プロジェクト演習報告第一部

(1) Bilingual City Promotion (茨城キリスト教大学・映像による発表)

(2) Meet U

(3) 茨内リンクプロジェクト

(4) Mito Bloom

(5) さとみ・あい

14:20～14:30 休憩

14:30～15:10 プロジェクト演習報告第二部

(6) チーム Kori Na

(7) 茨大交通政策課

(8) こみフェス

15:10～15:25 プレゼン講評

渡辺 しのぶ(ラシャンス代表)

15:25～16:00 ミニ・トークセッション「コロナ禍での PBL 今できること・今後に向けて」

赤岩 正樹 (本学研究・産学官連携機構特命教授)

岩佐 淳一 (プロジェクト演習担当教員)

鈴木 敦 (プロジェクト演習担当教員)

16:00～16:15 総括と閉会挨拶

内田 聡(人文社会科学部長)

主催：茨城大学人文社会科学部 共催：茨城キリスト教大学 後援：水戸市

ご理解のお願い

一部学生の「カメラ OFF での発表」について

本学の遠隔授業のガイドラインでは「オンライン上に顔を出すことを学生・教員ともに強要されないことを、学生に周知する」とされております。これを踏まえて、本日の活動報告会に当たっては

(1)通常はカメラは OFF でよい

(2)自分のチームが発表する際だけは、チーム全員がカメラを ON にすることが〈望ましい〉との指示を出しております。

しかしながら本日の活動報告会においては、履修生は原則として〈自宅から自前の PC と自前の回線で〉アクセスしております。このため、「カメラを ON にした状態で PC を操作するとフリーズ等の障害が起きてしまう」等の理由で、心ならずも OFF のままにせざるを得ない者もおります。

失礼かとは存じますがご理解を賜りたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2020年度プロジェクト演習活動報告会 趣旨説明

コロナ禍でのPBL 今できること・今後に向けて

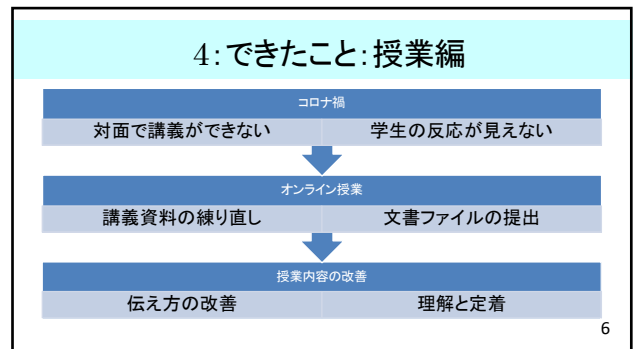
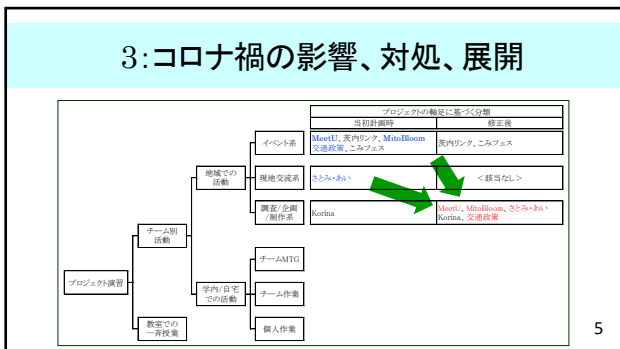
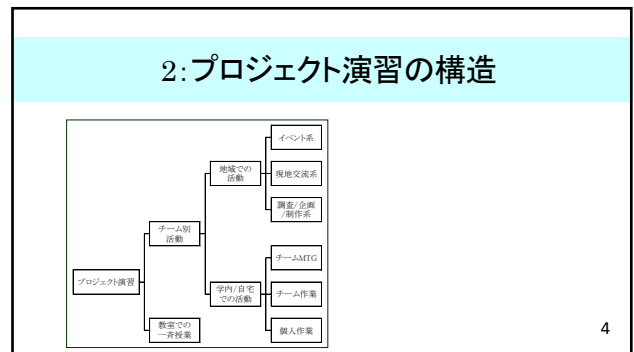
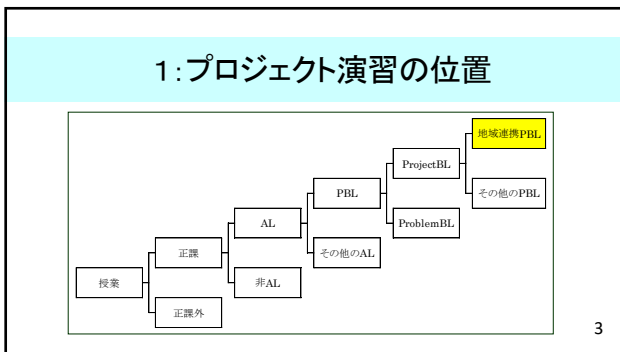
20201219
担当教員：神田大吾
daigo_kanda_8139@vc.ibaraki.ac.jp

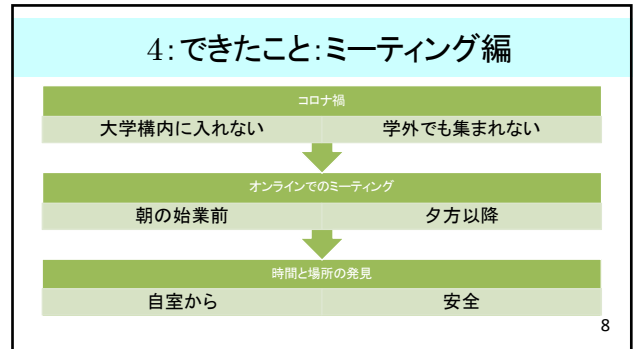
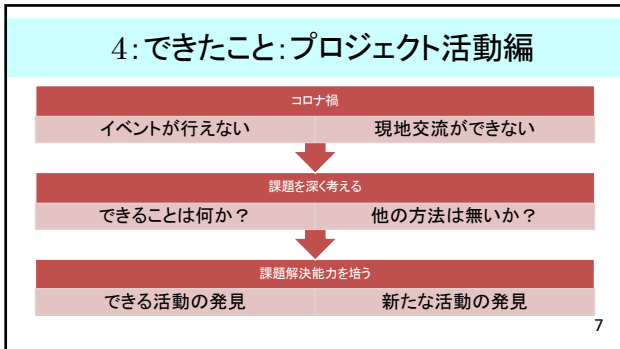
1

お話の流れ

- 1: プロジェクト演習の位置
- 2: プロジェクト演習の構造
- 3: コロナ禍の影響、対処、展開
- 4: できたこと: 授業、活動、ミーティング
- 5: 今できること・今後に向けて

2





5: 今できること・今後に向けて

- 同じ形ではなく同じ価値を追求する
- 大切なのは学生が学び続けること
- 平時になっても使えるオンラインの要素を探す

【熊本大学・鈴木克明「遠隔授業のデザイン7ヶ条」による】

9

5: 今できること・今後に向けて

- 同じ価値 • できたこと
- 学び続ける • 活動報告発表
- 平時に使える • ミニ・トークセッション

10

ご清聴ありがとうございました。

11

Bilingual City Promotion 経過報告

2020年12月19日(土)
茨城キリスト教大学
文学部現代英語学科3年
鈴木 彩花(プロジェクト代表)

昨年度までの実績

- オープンキャンパス時に、各国からの留学生と、地域の高校生との国際交流のイベントを企画・運営
- 2言語による地域マップを作成

2020年度:コロナ禍により、大きな制限

- 移動制限により、留学生の来日が次々とキャンセルに...
- 前期の緊急事態宣言により、地域の高校への訪問も不可能に...

↓

- 国際交流イベントを実行することが不可能に...

コロナ禍の中、何ができるか？

- 担当の先生から、日立市との連携プロジェクトの枠組みで活動したらどうかという提案
- 茨城キリスト教大学と日立市との連携協定に基づく、「学生プロジェクト」

日立市市長公室政策企画課 「令和2年度学生プロジェクトテーマ案」より

- 2 留学生の視点からみた日立市の課題と改善策
 - (1) 外国人生活支援
 - (2) **インバウンド促進策の提案**
- 5 **シティプロモーションの推進**
 - (1) SNS や Youtube 等を活用した情報発信と拡散方法の提案

プロジェクトの統一テーマの決定 ＜Bilingual City Promotion＞

- **Bilingual**
 - 2言語(今回は日本語と英語)で
- **City**
 - 都市(今回は日立市)を
- **Promotion**
 - プロモート(宣伝)する

日立市の何を「売り」にしていくのか？ 4項目を候補に

1. かみね動物園
2. 日立の大煙突
3. パンポン
4. ポポーアイスクリーム



1. かみね動物園



- 市が運営している動物園というのは大変珍しい
- 最近ではパンダを誘致しようという動きも



2. 日立の大煙突



- 煙害対策として作られた大煙突
- 新田次郎の小説にも取り上げられ、映画化も



3. パンポン



- 日立市発祥のスポーツ
- 2019年の茨城国体:デモンストラレーションスポーツ



4. ポポーアイスクリーム



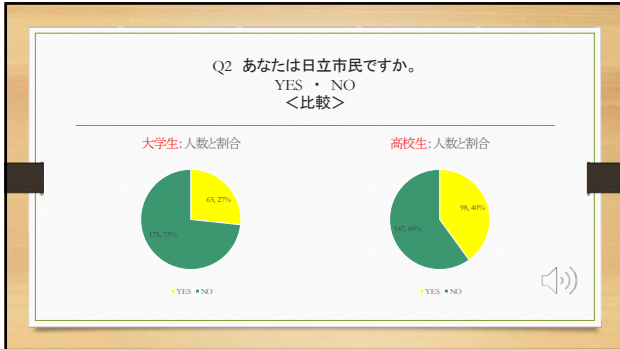
- ポポー: 日本では珍しい果物
- ポポーの果実を使ったアイスクリームなどが作られている



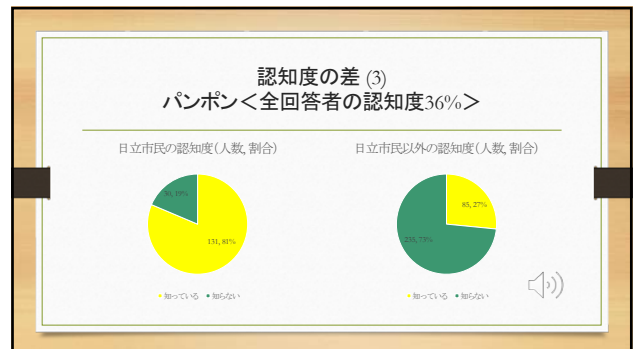
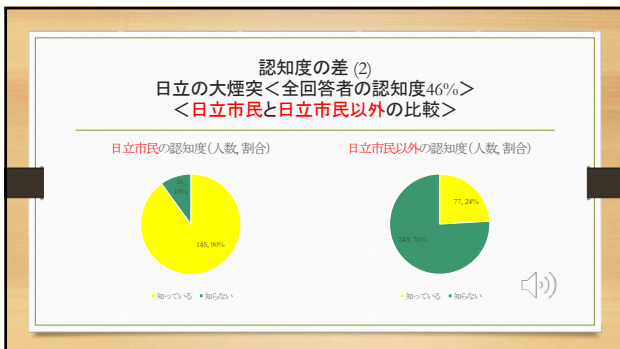
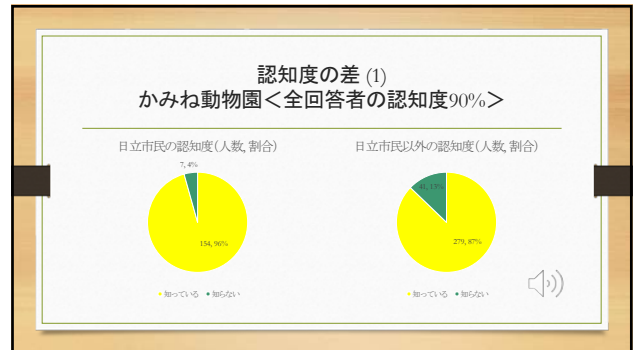
大学生と高校生に対するアンケート ＜4項目の認知度調査を中心に＞

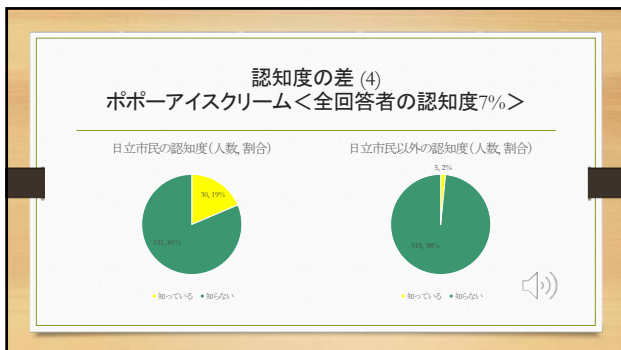
	茨城キリスト教大学生	茨城キリスト教学園高校生	
1年	112	245	
2年	14	0	
3年	54	0	
4年	52	-	
無記入	4	0	
計	236	245	全回答数:481





- ### 4項目について、日立市民と日立市民以外の認知度には差があるのか？
1. かみね動物園
 2. 日立の大煙突
 3. パンボン
 4. ボボーアイスクリーム





アンケート結果のまとめ

- かみね動物園以外は、日立市民と日立市民以外とでは、認知度に大きな差
- 県内居住の学生・生徒であっても、日立市について知られていないことが多い

知られていない項目のプロモーション 第一歩

- 学園内学生・生徒の認知度を高めるにはどうしたらいいか?
- 学園生協や大学図書館の関係者に話を聞いているという段階

今後の予定

- プロジェクトに取り組んでいる学生の中には在宅受講の学生も
- 思うように活動が進んでいない...
- 2月の後半に予定されている日立市と茨城キリスト教大学の関係者が出席する発表会に向けて、次の段階に進んでいきたい

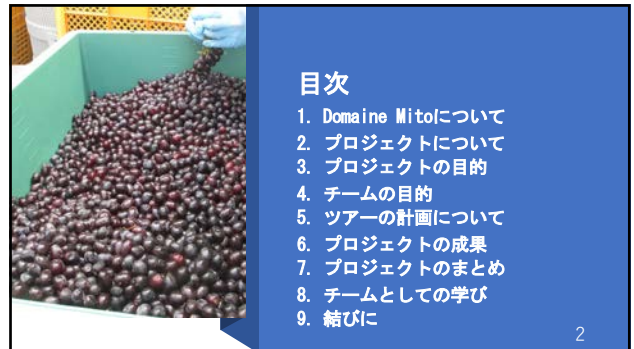




水戸観光
ツアー計画

Meet U
飯泉海人 杉脇大起 宮下穂子 高安大成 柏崎子

1



目次

1. Domaine Mitofについて
2. プロジェクトについて
3. プロジェクトの目的
4. チームの目的
5. ツアーの計画について
6. プロジェクトの成果
7. プロジェクトのまとめ
8. チームとしての学び
9. 結びに

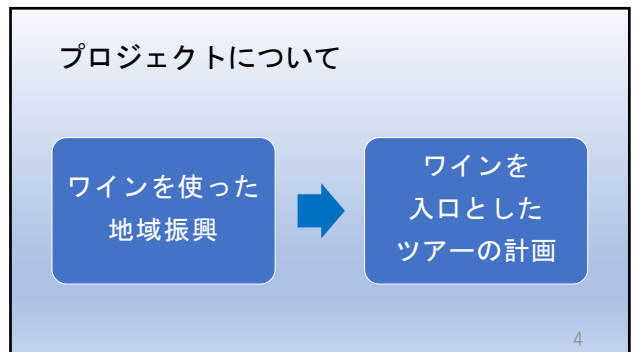
2

Domaine MITOについて

- 茨城県で唯一の街中ワイナリー
- ワインの製造・販売を手掛ける
- 地域に根差した活動を推進

3

プロジェクトについて

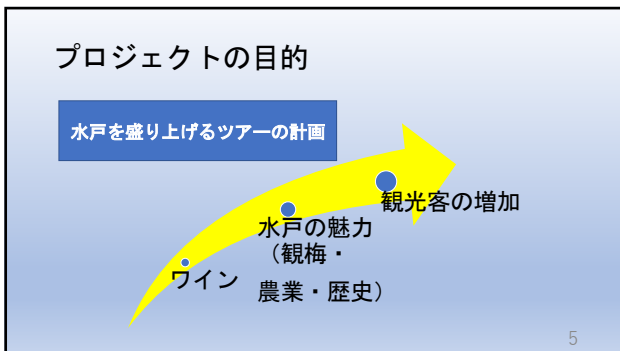


ワインを使った
地域振興

ワインを
入口とした
ツアーの計画

4

プロジェクトの目的



水戸を盛り上げるツアーの計画

観光客の増加

水戸の魅力
(観梅・
ワイン 農業・歴史)

5

チームの目的

- ・ 地域の課題を解決する能力を養う
- ・ 地域の既存の魅力と新たな魅力を発見する


6

ツアーの計画について：コンセプト

- ・水戸の魅力を活かしたツアーを作る
→SWOT分析をした際自分たちが考えた強み(歴史・梅・農業)を採用
- ・今までにない斬新なツアーを作る
→単体の要素ではなく、要素と要素を組み合わせることで斬新さを生み出す

7




ツアーの計画について：ターゲット層



フットワークの軽い層	・東京の人
アクティブシニア	・50～60代
若者	・20～30代

8

ツアー1の特徴

-  ・既存の魅力(偕楽園)と新しい魅力(ワイン、農業)を掛け合わせたツアー
-  ・体験型のツアー(ぶどう狩り、ワインづくり)
-  ・ワインの一連の製造過程に関われる




9

ツアースケジュール (ツアー1)

8月上旬	
ツアースケジュール	時間
東京駅出発	8:00
鯉淵学園 ぶどう狩り	11:00
五鐵 (軍鶏料理)	12:40
泉町会館 ワインづくり	14:05
偕楽園散策	15:00
東京駅解散	18:30

10

ツアー2の特徴

-  ・既存の魅力(偕楽園、あんこう鍋、歴史)と新しい魅力(ワイン)を掛け合わせたツアー
-  ・季節の魅力を押し出したツアー
-  ・ワイン生産者と交流の場の創出

11

ツアースケジュール (ツアー2)

3月上旬	
ツアースケジュール	時間
東京駅出発	8:00
弘道館散策	11:00
五鐵 (あんこう鍋)	12:00
Domaine MITO (水戸・ワイン講座)	13:30
偕楽園散策	14:45
東京駅解散	18:30

12

プロジェクトの成果

ツアー1

- ・様々な魅力を掛け合わせたが、目新しさがなかったので新規採用見合わせ

ツアー2

- ・集客に不安があるため、形を変えて実行を検討

13

プロジェクトのまとめ

- ・目新しさに欠けるツアーになってしまった
- ・ツアー実行に至るまでの手段の提案ができず、集客面に不安が残る形となってしまった
- ・実際にツアー候補地に赴くことで、再現性の高いツアーができた

14

チームとしての学び

計画とその実行の重要性

ブランディングの難しさ

理屈と根拠のあるプレゼン

コロナ禍ならではの意志共有

15

謝辞

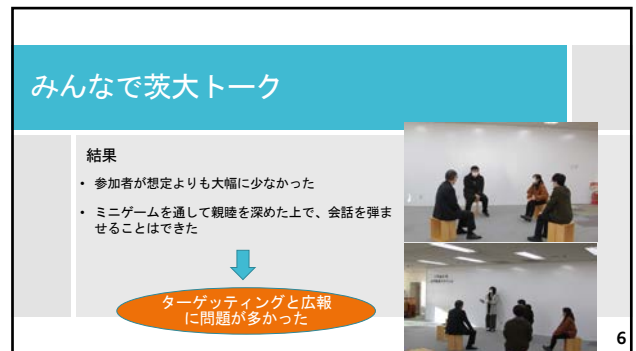
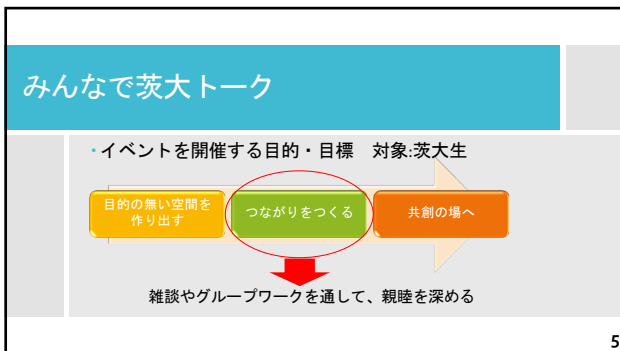
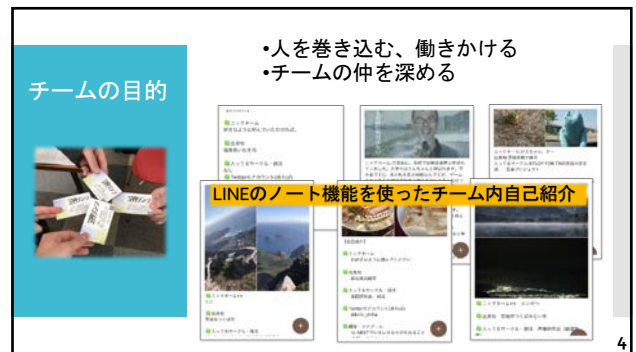
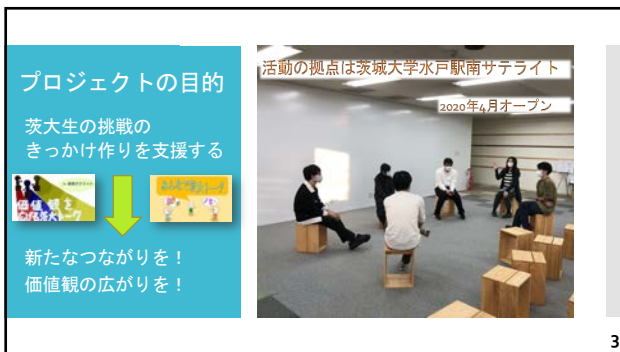
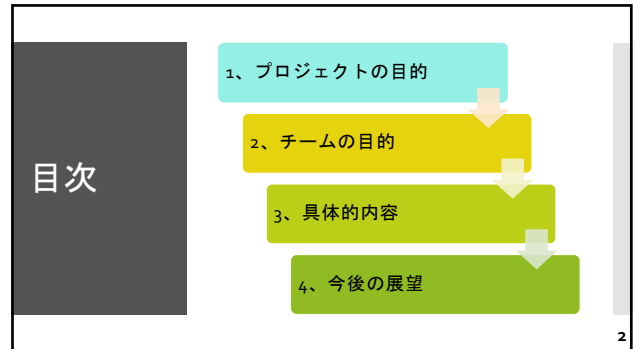
Meet Uのチーム活動にあたりまして
Domaine Mito株式会社をはじめにたくさんの方々に
ご支援をいただきました。
心より感謝を申し上げます。

Meet U一同

16

ご清聴ありがとうございました


17



価値観を広げる 茨大トーク

【ゲスト】
(株)Dinow代表 高橋健太様

起業するまでの経緯、
学生に伝えたいことについて



7

参加者の声

大学の内外がゆるやかに
つながっている雰囲気がすてき

私みたいなごく普通の大学生にも
内容が入り込みやすいイベントだった

登壇者の方、
キラキラしてみえた、+

8

イベントを通しての発見

得られたもの	課題
水戸駅南サテライト の認知	ターゲティングの 徹底
新たなつながり	広報の見直し・研究

9


今後の展望

- ・2回目のイベント
- ・ラジオ出演による、
チームの活動および
水戸駅南サテライトの
認知向上

10

SNS

Twitter : @ibadai_link



フォローお願いします！

11

ご清聴 ありがとうございました

11

**310食堂の
新たな魅力を創る**
～MITO BLOOMチーム～
山口二千翔 木村友紀奈
稲野邊優香 太田成美 須摩玉来

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 具体的内容
 - (1) サイトの制作
 - (2) 各種SNSの運用
4. 目的・目標の達成
5. まとめ
6. 今後の展望

2

1. プロジェクトの目的

- ・水戸市民の地域コミュニティを支える
→310食堂の**新たな魅力**を創る

↓

310食堂に新たな層を呼び込む
地域の農家、若者など

↓

コロナ禍においても幅広い世代の方々が
310食堂に関わってくれる仕組みを作る

3

2. チームの目的

インターネットを通じて地元の地域コミュニティを支え、
310食堂に新たな魅力を作る中で発信力、実行力を培う。

4

3. 具体的内容

★HPを製作し、**地域の農家のおすすめレシピを紹介**

↓

NPO法人セカンドリーグ茨城の皆様が作成中の
「水戸市周辺の農家紹介パンフレット」と連動

↓

**レシピサイトを通じてより多くの層に
310食堂との関わりを持ってもらう狙い**

5

3. 具体的活動

- ・「水戸市周辺の農家紹介パンフレット」
→ レシピの簡単な紹介・HPのQRコードを掲載
- ・新たに作るサイト ← **私達に関わる部分**
→ 詳しい料理の作り方を掲載

6

※補足

【NPO法人セカンドリーグ茨城とは】

子育て世代の応援・暮らしや地域の課題解決を目指し活動しているNPO法人。

⇒活動は310食堂の運営など多岐にわたる

7

※補足

【310食堂とは】

・毎月第三土曜日、水戸市内の三拠点で同時開催される子ども食堂。

【趣旨】食を通じて、地域住民の交流の場となること

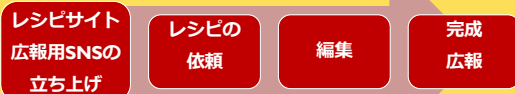
【主催】310食堂実行委員会

現在はテイクアウトのお弁当を作り販売。



8

3. (1) サイト制作



9

3. (1) サイト制作

9/13 セカンドリーグ茨城事務所(茨城県労働福祉会館)にて農家の方々へのアポ取り作業

→おすすめのレシピを教えてください依頼



10

3. (1) サイト制作

10/24 マチノイズミにてセカンドリーグ茨城の皆さんと「農家飯」の試食会

→頂いたレシピを実際に作り、サイト掲載用の写真を撮影



11

3. (1) サイト制作

・マーボー小松菜・ジンジャーエールを試食



12

3. (1) サイト制作

WIX（ホームページ作成ツール）を使用

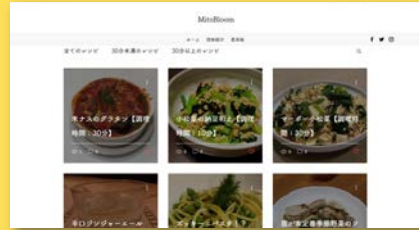


Mito Bloomの紹介や「農家飯」のレシピを掲載

11月に完成 ⇒ 各種SNSで広報

13

制作したサイト



14

制作したサイト



ぜひご覧ください！

14

3. (2) 各種SNSの運用

TwitterとInstagramを主に使用

主に団体及びサイトの広報に利用



15

3. (2) 各種SNSの運用

ミーティングの様子や活動内容に加え、
メンバー紹介・スタッフのおすすめレシピも投稿
⇒より団体について知ってもらい、広報に繋げる狙い



16

3.(2) 各種SNSの運用



Twitter



Instagram

レシピサイトのリンクやスタッフおすすめレシピなど
役立つ情報が盛りだくさん！

17

4. 目的・目標の達成

【活動の目的】
 ・310食堂の新たな魅力を創る
 ⇒レシピサイトを通じて310食堂を広める

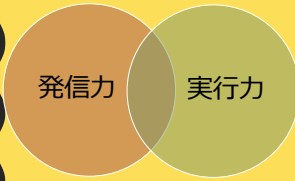
↓

SNSのフォロワー数 各50人 ○
レシピサイトの完成 ○
SNSからHPへのリーチ 計100人
パンフレットからのリーチ 発行部数の1割 **今後検証!**

18

4. 目的・目標の達成

【活動の目標】



レシピサイトの製作、
各種SNSを使った広報
を通じて2つの力を習得

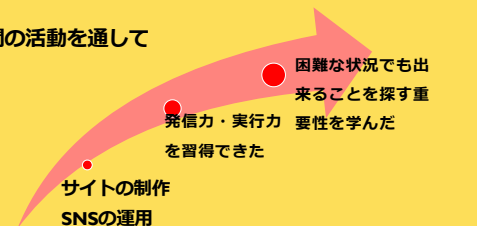
↓

目標達成!

19

5. まとめ

1年間の活動を通して



● 困難な状況でも出来ることを探す重 要性を学んだ

● 発信力・実行力を習得できた

● サイトの制作 SNSの運用

20

6. 今後の展望

- ・完成したレシピサイトの広報
- ・サイト閲覧数の検証




21

謝辞

Mito Bloomチームの活動に当たりましては
セカンドリーグ茨城の皆様を始めとして
沢山の方々にご支援を戴きました
末尾ながら、心より感謝申し上げます

Mito Bloomチーム一同

22

ご清聴ありがとうございました!



23


さとみリサーチプロジェクト 最終報告 ～さとみ・あいチーム～

<メンバー>
 リーダー : 谷川晴香
 副リーダー : 大金咲由莉
 会計 : 友部瑠莉那
 書記 : 藤枝千夏
 相談 : 大貫史織




目次

- ・プロジェクトの目的
- ・チームの目的
- ・プロジェクトの概要
- ・調査活動の報告
- ・プロジェクトの振り返り
- ・今後の展望




プロジェクトの目的

・茨城県常陸太田市里川地区(旧里美村内)の特産品である「里川カボチャ」の生産量を増やす手助けをすること
 →生産者を増やすための広報活動に役立つ情報の収集を行う



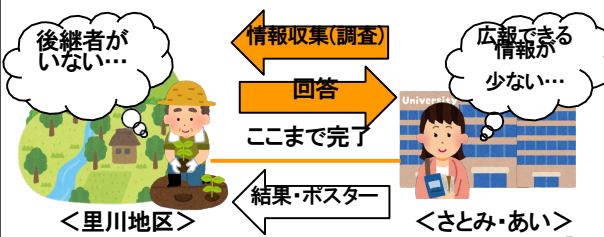
チームの目的

分析力 **説明能力** **情報収集力** の向上
 →今後も活用できる**マニュアル**や**実践例**の確立
 ・現地の方が継続しやすい**成果物**の作成
 ・**広報活動**の経験を積む




プロジェクトの概要

後継者がいない…
 情報収集(調査)
 回答
 ここまで完了
 結果・ポスター
 広報できる情報が少ない…
 <里川地区> <さとみ・あい>




調査活動の報告

【実施日】
 11月22日(日)13:30～16:00
【調査対象】
 里川カボチャ研究会の会員4名
 常陸太田市観光大使の山口麻理子様
 ※里川カボチャ研究会…里川カボチャ生産者の団体



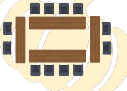
調査活動の報告



【場所】
常陸太田市里川コミュニティセンター(右上図)


【実施形式】
座談会形式のインタビュー調査(12問)
↳栽培・販売・定住の3分野について質問

<座談会形式>



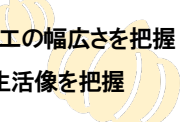
7

調査活動の報告




【得られた知見】

- ・栽培…里川カボチャ作りのやりがい、大変なことを把握
週末農業への可能性を発見
- ・販売…主な販路と里川カボチャの加工の幅広さを把握
- ・定住…里川地区居住者の大まかな生活像を把握



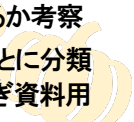
8

調査活動の報告



【調査結果の分析】


- ①各質問で得られた情報を要約
- ②各情報が今後どのようなことに使えるか考察
- ③考察を参考にそれらの情報を用途ごとに分類
(例)広報ポスター案用、次年度の引継ぎ資料用



9

今後の展望

- ①広報用ポスター案作成完了
引継ぎ資料作成着手 …12月下旬
↳余裕があれば案を使ったSNS広報を実施
- ②ポスター案を研究会へ送付
引継ぎ資料作成完了 …1月中旬くらい



10


プロジェクトの振り返り

・インタビュー調査と調査結果の分析を経験

➡ **分析力** **情報収集力** **説明能力** が向上

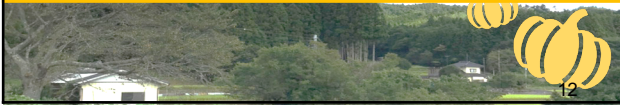
目的達成!

これまでのさとみ・あいの活動とは違った
大学生らしいプロジェクトを行うことができた

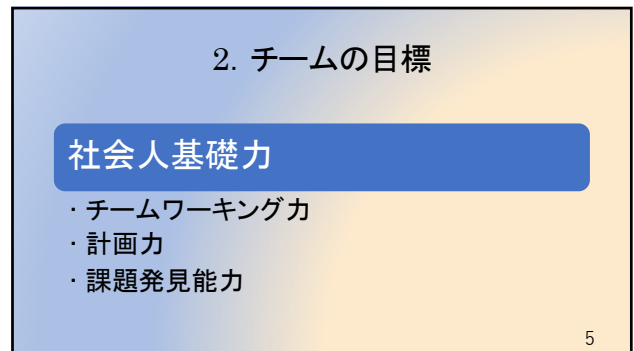
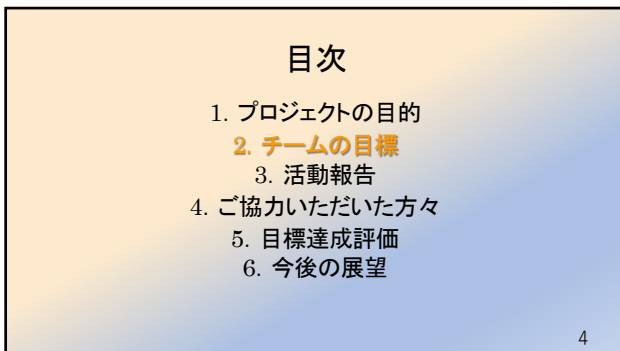
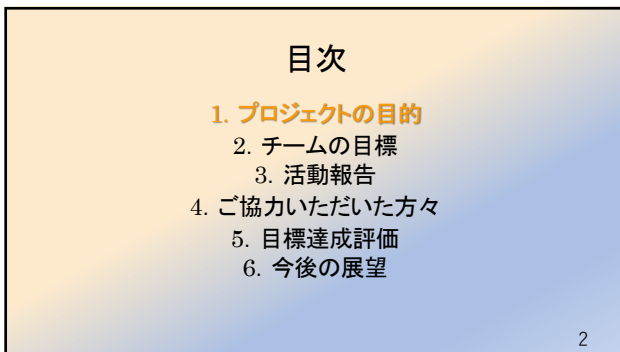
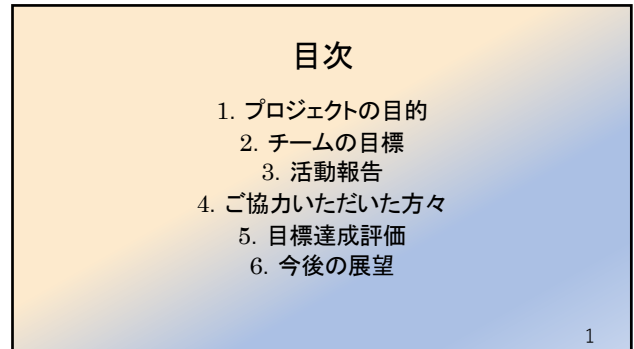


11

調査活動にご協力いただきました
里川地区の皆様、この場をお借りて
お礼申し上げます
ご清聴ありがとうございました



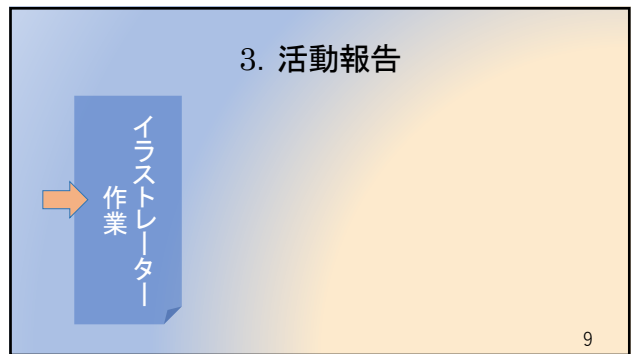
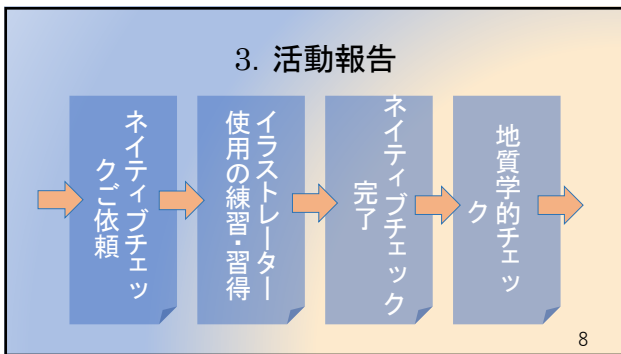
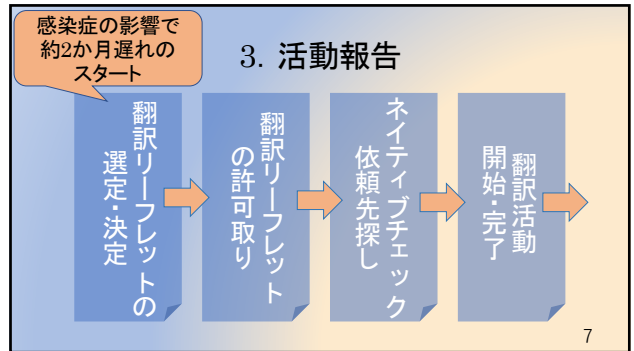
12

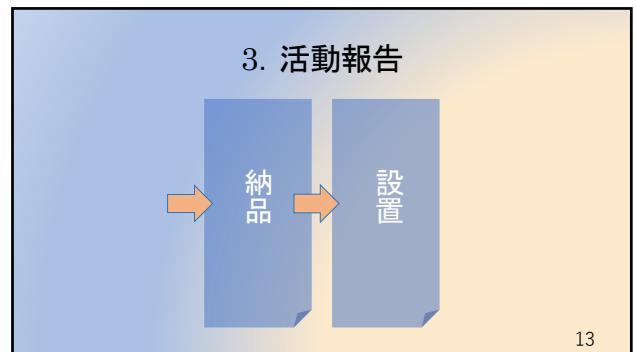
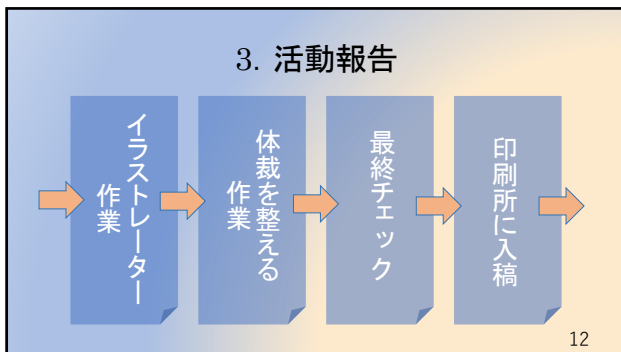


目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目標
- 3. 活動報告**
4. ご協力いただいた方々
5. 目標達成評価
6. 今後の展望

6





目次

- 1. プロジェクトの目的
- 2. チームの目標
- 3. 活動報告
- 4. ご協力いただいた方々**
- 5. 目標達成評価
- 6. 今後の展望

17

4. ご協力いただいた方々

- 茨城大学ジオパーク推進室の皆様
- 茨城大学地質情報活用プロジェクトの皆様
- ネイティブチェックにご協力いただいた皆様
 - 印刷にご協力くださった皆様

18

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目標
3. 活動報告
4. ご協力いただいた方々
5. **目標達成評価**
6. 今後の展望

19

5. 目標達成評価

チームワーキング力向上

社会人基礎力向上

リーフレット完成

20

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目標
3. 活動報告
4. ご協力いただいた方々
5. **目標達成評価**
6. **今後の展望**

21

6. 今後の展望

リーフレットの設置個所を増やす



県の観光業やインバウンドにさらなる貢献

22

ご清聴ありがとうございました

23



目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. 成果
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って

2

1. プロジェクトの目的

目的
茨大生の自転車マナー向上

目的を決めた経緯

- (1) 自転車に関する取り組みが行われていなかった
- (2) 国道123号線が茨城県のサイクルルートの候補路線に
- (3) 学生が関わる事故増加

Flowchart: 自転車マナー周知活動 → マナーの認知 → マナーの向上 → 自転車事故の減少. A callout box labeled '動画 チラシ 電子パンフレット' points to the transition between '認知' and '向上'.

3

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. 成果
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って

4

2. チームの目的

Diagram: A central yellow circle '社会人基礎力養成' is connected to three surrounding light blue circles: '大学全体を巻き込む', 'コンテンツ制作・公開', and '課題解決力'.

5



目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. 成果
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って

6

3. 今までの活動内容



- 定例会議 (毎週)
- フィールドワーク (大学と周辺,8月)
 - 学内(駐輪場、グリーンライン)視察
 - 撮影現場視察
- 学外実習 (水戸市役所,9月)
 - 水戸市役所様からレクチャー
 - 通行指導見学
 - 意見交換・共有

7

3. 今までの活動内容

- サイクルツーリズム勉強会 (Zoom上,9月)
 - 水戸市役所様からご提案いただき、参加
 - 専門家のお話を聞く
 - 自転車は楽しいものであることを再認識
- ラジオ出演 (茨城放送,10月)
- チラシ・電子パンフレット作成 (9~11月)
- 動画撮影・制作 (11月)

8

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. **コンセプトと内容** ◀
5. 成果
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って

9

4. コンセプトと内容 ~動画~

コンセプト

共感できるテーマを軸に、多くの人に見てもらおう

内容

マナー啓発を前面に押し出すと見てくれない?
 →「**茨大あるある**」を集めた動画内に
CMとして、自転車マナー啓発の動画を入れる

10

4. コンセプトと内容~チラシ・電子パンフレット~

コンセプト

チラシ：思わず読みたくなる、暇つぶし、繰り返し見てもらおう
 電子パンフレット：より詳しい**実用的な**情報

内容

チラシ：ルール違反を組み合わせたイラストの**間違い探し**
 電子パンフレット：自転車修理店、自転車保険、
 事故に注意すべき場所などの詳しい情報

11

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. **成果** ◀
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って

12


5.成果~動画~

あるあるの食事編とCM(車道左側)を公開!

「茨大あるある」

「CM」

~茨大あるあるの食事編~



13

5.成果~チラシ~

表

裏

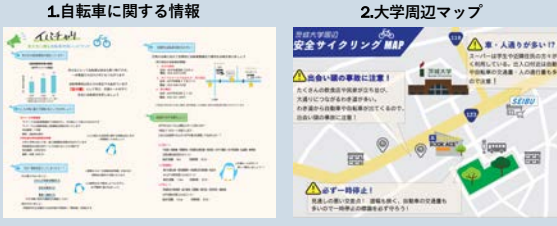


14

5.成果~電子パンフレット~

1.自転車に関する情報

2.大学周辺マップ



・茨大生の自転車事故データ
・自転車店紹介
・自転車保険
・事故を起こした時の対処法

・事故が起こりやすい場所の紹介

15

5.成果~電子パンフレット~

3.まとめ&間違い探しの答え



・ルールのおさらい
・間違い探しの答え

16

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. 成果
6. 今後の活動 ◀
7. プロジェクト演習を振り返って

17

6.今後の活動

- ・プロジェクト演習のFacebook
- ・チームのTwitterとYouTubeアカウント

↓

制作物を公開
SNS等を通してルールを周知



18

6. 今後の活動

- ・チラシを印刷して学内に設置することを検討
- ・茨城大学生協様とチラシの設置について交渉
- ・人文社会科学部棟デジタルサイネージに自転車CMを掲載予定(毎年年度始めから1Qの期間)

19

目次

1. プロジェクトの目的
2. チームの目的
3. 今までの活動内容
4. コンセプトと内容
5. 成果
6. 今後の活動
7. プロジェクト演習を振り返って ◀

20

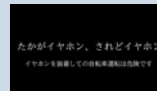
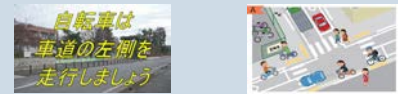
7. プロジェクト演習を振り返って

学んだこと

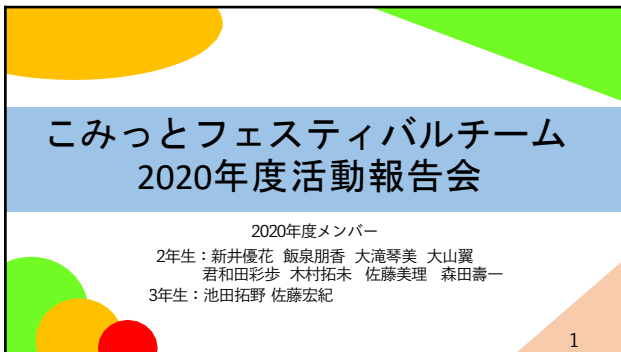
- ・年間を通しての活動→スケジュールを逆算して考える
- ・計画通りに進めることの難しさ
- ・連絡を取り合うことの大切さ

21

ご清聴ありがとうございました

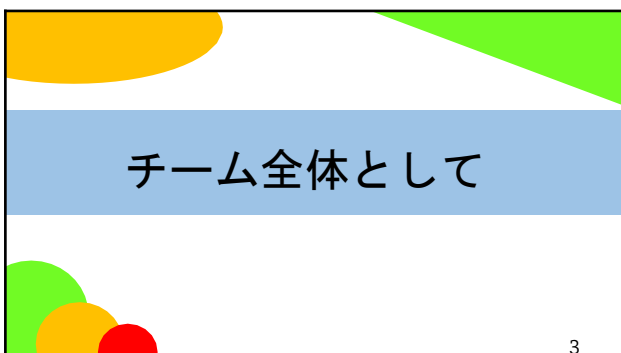


22



目次

- ・チーム全体として
- ・広報担当こみ報チーム
→パンフレットの成果・今後の展望
- ・企画担当こみフェス企画班
→VRとクイズラリーの成功基準・スケジュール
- ・謝辞

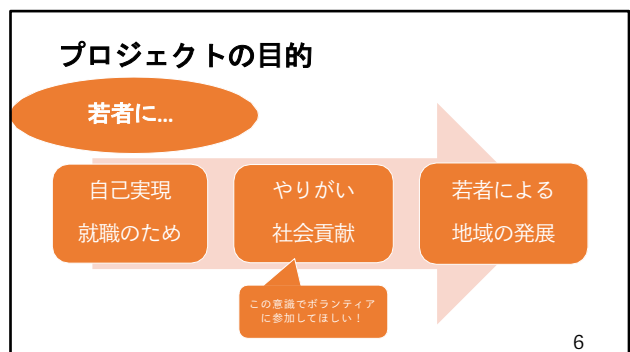


こみっとフェスティバル 概要・目的

- ・水戸市内のNPO法人やボランティア団体等の市民活動団体が集まる
- ・各団体間のネットワークづくりや、一般の方々に 団体の存在を知っていただき、身近に感じてもらう イベント

プロジェクトの目的

- ・今年度は小チーム制
→「こみ報」「こみフェス企画班」の2チームに分ける
それにより、広報・企画の両面に力を注ぐことが可能
- ・今年度の情勢
…コロナ禍に備えて、どのように広報・企画を行うか
- ・若い世代に合った方法で「広報」「企画」を行う
…若者に水戸市のボランティア団体の活動を広めていき、知ってもら
⇒私たち学生 (=若い世代) の目的



学び・成果

紙媒体発信力・解決能力
こみ報…去年度とのパンフレットの比較、そして構成企画班…コロナ禍での企画、その後実施

こみ報

- パンフレット掲載団体の増加 → 「こみっとフェスティバル」や団体への**貢献**
- 多くの**つながり**の取得 → 地域の発展を目の当たりにすることができた

こみフェス企画班

- 実際に**ボランティア参加** → 「社会貢献」「やりがい」というものを確認
- 学生による参加 → 地域の発展につながる**こと**ができた


働きかけ方
こみ報…パンフレット掲載により、様々な団体を巻き込むことに成功
企画班…ボランティア参加企画書作成、提案は学生がコロナ禍を考慮した上で自ら行動

主体性
こみ報…学生への意識調査アンケート
今後のSNSによる広報
企画班…ボランティア参加企画書作成、提案は学生がコロナ禍を考慮した上で自ら行動

チーム全体としての動き

- 1～3回/週のミーティング
- 月1回の実行委員会への参加
- ラジオ出演
- 団体募集チラシ裏面の作成 (右図)
- 夏季休業 水戸市内のボランティア活動への参加
- 9月 水戸市役所への学外実習

こみフェス参加団体の募集呼びかけをするため、チームを代表して:
※参加した
2020年11月5日、1日(土)があるん「こみっとHOTスポット」内のコーナーにて披露された



8


広報担当こみ報チームについて

2年生: 君和田彩歩 新井優花 飯泉朋香 大滝琴美
3年生: 佐藤宏紀

9

こみ報が行ってきた活動

- パンフレット作成
- 茨大生への意識調査
- SNSでの広報

10

特に力を入れた活動は... **パンフレット作成!**

✓1から自分たちで

パンフレット作成

- 1から自分たちで
- 外部に委託

✓コロナ禍だからこそ

コロナ禍で出展できない団体を含め、**82団体の紹介**を掲載。
→イベント後も活用できるパンフレットに!

11

なぜパンフレットに力を入れたのか

- 若者向けの広報=SNSというイメージがあるが...
- ①フォロワー数が少ない場合→**情報を拡散させにくい**
- ②**情報が確実に届くとは限らない**(スルーしてしまう恐れがある)
- ③そもそも**フォロワーが若者とは限らない**
- ⇒だからこそ**パンフレット**に注目!

パンフレットだと

- ・**手元に残る**(情報が確実に届く)
- ・**特定の年齢層に届ける**ことができる
- ・**多くの情報を残す**ことができる

12

広報活動の成果


昨年度	今年度
【配布部数】 2千部 【配布対象】 こみっとフェスティバル来場者のみ 【配布時期】 こみっとフェスティバル当日	【配布部数】 3万部 【配布対象】 水戸市内の全中高生 水戸市内の公共施設 【配布時期】 こみっとフェスティバル当日 2月上旬（事前配布）

⇒配布部数・対象の大幅な拡大と事前配布により、若者を含めた様々な年代への周知に成功！

13

今年度パンフレットの魅力

○団体紹介のページ

昨年度	今年度
	

14

今年度パンフレットの魅力

○団体紹介のページ

昨年度	今年度
<p>おたがいさま水戸 くららのちよとした寄りこを有償ボランティアの生活応援がターがお手伝いします。水戸市を活躍エリアとして活動しています。 TEL:029-303-5333 E-mail:info@otagaisama-mito.com</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページに9～12団体の掲載 ・情報量が少ない ・情報にアクセスしにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓1ページに2～3団体の掲載 ✓QRコードやアイコン、マークの活用 ✓茨大生への意識調査の反映

15

今年度パンフレットの魅力

○表紙

昨年度	今年度
<ul style="list-style-type: none"> ・写真の多用 ・文字情報の散らばり ・派手な色の多用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓写真の不使用 ✓文字情報の配置 ✓やわらかい色合い

16

今年度パンフレットの魅力

○当日のタイムスケジュール及び出展団体の紹介ページ

昨年度	今年度
<ul style="list-style-type: none"> ・当日の発表内容が曖昧 ・タイムスケジュールと団体の紹介が紐づいていない 	<ul style="list-style-type: none"> ✓当日出展する内容の紹介 ✓各団体の紹介ページ記載 ✓感染症対策の説明

17

今後の展望 (1) SNSアカウント

■ SNSの特徴

<p>SNSのメリット 情報の柔軟性</p> <p>利用者・投稿内容・投稿頻度の制限がなく、自由な投稿ができる</p>	<p>SNSのデメリット 情報の流出性</p> <p>最新情報が次々と入る為、投稿内容を忘れてしまうことがある</p>
--	--

☑ デメリットを「味方」につける！

18

今後の展望 (1) SNSアカウント

■アプローチ方法

SNSのメリット
情報の柔軟性

→

パンフレット予算の都合上載せきれない情報もタイムリーに発信!

SNSのデメリット
情報の流出性

→

投稿の「期間」「時期」「内容」の工夫により、味方につけることが可能

19

今後の展望 (1) SNSアカウント

■ SNS利用の「期間」「時期」「内容」

- ・ 期間：2か月半 → 短期間集中型で「忘れさせない」
- ・ 時期：12月中旬～2月21日 → こみフェス直前投稿で「知る」から「行ってみよう」に
- ・ 内容：(1) **パンフレットに載せきれない情報の紹介**
→ こみフェス目玉企画の告知・学生スタッフの裏側情報の発信
- (2) **パンフレット掲載団体の紹介**
→ パンフレット内容をSNSでも発信

20

今後の展望(2)パンフレット

12月16日	第7期実行委員会へパンフレットレイアウト確定
12月末	パンフレット完成版を頒布
1月10日	各団体へパンフレット掲載内容の確認依頼
1月中旬	パンフレット印刷依頼
1月末	第3期定款審査
2月1日	パンフレット納品
2月10日	パンフレットを中高生、市内の公共機関へ配布

21

画担当こみフェス企画班について

2年生：木村拓未 大山翼 佐藤美理 森田壽一
3年生：池田拓野

22

学生が立てた企画

VR企画

デジタルクイズラリー

23

何故この企画を立てたか

- ◆ 「市民団体を知る」ということが達成できる企画
- ◆ 「若者」を集客する企画


来場者がボランティア団体さんについて「**学べる場**」の提供を目的として立案

こそこの企画!


24

企画承認のプロセス

- 学生内で「コロナ禍だから」「若者に合った企画」として提案
- 学外実習にてブラッシュアップ
- 実行委員会にて、プレゼンを行う
- 9月16日、企画承認に至る
- 企画のために使用する機材は、再利用できるとして好評を得る



VR企画のメリット



- 擬似的な体験
- 2Dにはない360度の視点
- インパクト

26

成功基準

A.VR企画

【計測方法】来場者の事後報告、スタッフのカウント

- 300人以上 → 成功
- 360人以上 → 大成功

27

A. VR企画 進捗とスケジュール

- 7月末 チーム内で企画提案
- 8月 企画書の作成
- 11月7日～12月 撮影の実施
- 10月 上旬：機材の調達、下旬：撮影日程の確定
- 1月 上旬：映像編集完了、下旬：端末調査、CM作成
- 2月 上旬：最終確認 21日：本番

28

デジタルクイズラリーの3つのメリット

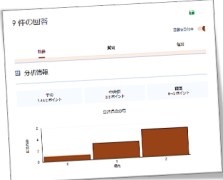
- 解答の手軽さ
- 紙とペンを使わない
- 団体と来場者との出会いの場の創出

29

成功基準

B.デジタルクイズラリー企画

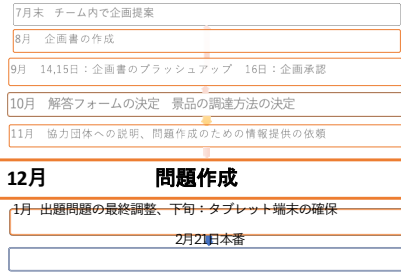
【計測方法】Googleフォーム



- 200人以上 → 成功
- 250人以上 → 大成功

30

B. デジタルクイズラリー企画 進捗とスケジュール



31

謝辞

水戸市市民生活課協働係 橋本 隆志 様 尾崎 志野 様

こみっとフェスティバル実行委員会の皆様

私たち学生の活動に協力頂いた団体の皆様

32

今後のこみフェス状況について

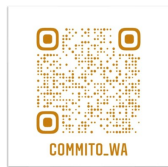
開催日：令和3年2月21日 場所：イオンモール水戸内原



Twitter：@CommitoW



ぜひチェックしてください！



Instagram：commito_wa



33

ご清聴ありがとうございました

34

2020年度活動報告会 ミニ・トークセッション
コロナ禍でのPBL
今できること・今後に向けて

鈴木敦・赤岩正樹・岩佐淳一

1

お話の流れ

- 1:はじめに
- 2:「コロナ禍の中でやったこと・できたこと」を振り返る
- 3:今、できること・今後に向けて
- 4:おわりに

2

1:はじめに プロジェクト演習の位置

3

1:はじめに プロジェクト演習の構造

4

1:はじめに コロナ禍の影響、対処、展開

プロジェクトの輪郭に基づく分類	
当初計画時	修正後
Meet!, 茨内リンク, MitaBloom, 交通政策, こみフェス	茨内リンク, こみフェス
さとみ・あい	<該当なし>
Korina	Meet!, MitaBloom, さとみ・あい, Korina, 交通政策

5

2:「コロナ禍の中でやったこと・できたこと」を振り返る

活動例1: 茨内リンクプロジェクトチーム

活動例2: さとみ・あいチーム

6

3: 今できること・今後に向けて

- (1) 今後も続くコロナ禍の中で
- (2) オンラインの可能性
- (3) 今後に向けて

7

3: 今できること・今後に向けて

2019年度初頭の一斉授業

- 第1回(4/12)ガイダンス、社会人基礎力&個人の達成目標ルーブリック
- 第2回(4/19)課題提案(学外から)と質問会
- 第3回(4/26)課題提案(学生から)と質問会、課題選択とチーム結成
- 第4回(5/10)自前予算と外部補助金概説、プロジェクト構想策定事始め
- 第5回(5/17)各種取り決めとマナー等の確認
- 第6回(5/24)プロジェクト構想報告&相互評価

8

3: 今できること・今後に向けて

2020年度初頭の一斉授業

- 第0回(4月初)2019年度初頭一斉授業相当の内容を10本のPPTにまとめ
「オンラインガイダンス(1)～(10)」としてFBIにアップ
- 第1回(6/4)ガイダンス
- 第2回(6/18)課題提案と質疑応答
- 第3回(6/25)課題選択とチーム結成

* 第1回～第3回はMS-Teamsで実施 9

4: おわりに

- (1) 手探りの一年
- (2) 今後に向けて

10

ご清聴ありがとうございました

プロジェクト演習HP:
<http://nbl.hum.ibaraki.ac.jp/project.html>

プロジェクト演習FB:
<https://www.facebook.com/IUChiiking/>

11